

2021年度シンポジウム次第

性別違和・性別不合があっても安心して暮らせる社会をつくる
— 人権保障のため私たち一人ひとりが何をすべきか —

	《総合司会》	シンポジウム委員会 副委員長 委員	高岡 俊之 小池 さやか
1	開会宣言	長野県弁護士会 会長	久保田 明雄
2	理事長挨拶	関東弁護士会連合会 理事長	海老原 夕美
3	基調講演 「ある「性同一性障害」者が見てきた社会」		虎井 まさ衛 氏
4	委員会からの報告		
	はじめに（問題提起）		宮井 麻由子
	第1部会 「総論・憲法論」		松永 成高 小池 さやか 本多 広高
	第2部会 「法律上の性別変更の問題」		黒田 隆史
		〈 休憩 10分 〉	
	第3部会 「性別表記・性別欄の問題」		大畑 敦子 吉田 奉裕
	第4部会 「医療の問題」		鈴木 敦悠
	第5部会 「トイレの問題」		立石 結夏
	第6部会 「子どもたちの問題」		今泉 圭介 呉 国峰 梅田 英樹
	第7部会 「労働の問題」		安倍 嘉一
	第8部会 「刑事収容施設の問題」		本多 広高 岡室 恭輔 尾畑 慧
5	閉会挨拶	シンポジウム委員会 委員長	諏訪 雅 顕

基調講演者のご紹介

虎井 まさ衛 氏（とらい まさえ）

著述業。大学非常勤講師。性同一性障害当事者・研究者・支援者のためのミニコミ誌「F T M日本」を16年間主宰する。

幼児期より性同一性障害に悩み、大学卒業後、渡米して女性から男性への性別適合手術を受ける。その前後の1987年より、著述・講演など性同一性障害についての啓発活動を始め、1994年に創刊した「F T M日本」は国内外の研究者・教育者にも広く参考にされていた。

東京都人権啓発ビデオ（東映製作）への出演、「3年B組金八先生」第6シリーズへの協力など、性と人権について、教育現場や特にメディアを通じてアピールすることに力を入れている。関連著書多数。